

令和4年度官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)  
新 SBIR 制度加速事業実施方針

令和4年9月29日  
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改定:令和4年4月14日ガバニングボード決定)に基づき、令和4年度のPRISM対象施策、配分額を次のとおり定める。

**システム改革型**

**新 SBIR 制度加速事業配分額: 9,295千円**

対象施策	概要	府省庁名	配分額(千円)
大学発新産業創出プログラム(START)プロジェクト推進型(SBIRフェーズ1支援)	社会ニーズ・政策課題に基づく研究者向けの研究開発課題をスタートアップ等に適した形で設定する。フィージビリティ・スタディ段階から、幅広く支援を開始、ステージゲートを通して、事業化・成長可能性の高い研究開発シーズを選抜し、連続的に支援を実施する。	文部科学省	9,295

## 文部科学省 積算

対象施策名：大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト推進型  
 (SBIRフェーズ1支援)

単位：千円

PRISM予算分の積算表	
区分	金額
事業委託費（1件分）	合計 9,295
	[内訳]
	区分 金額
	1.人件費 1,100
	2.機械装置等費 3,800
	3.その他経費 2,250
	4.間接経費 2,145

※令和4年度新SBIR制度加速事業の予算として、文部科学省に2億円配分済

## 令和4年度フェーズ1トピック一覧（文部科学省）

No.	タイトル
1	Beyond 5Gの機能を実現・活用し、新たな価値を生み出す最先端の通信技術・通信アプリケーション等に関する研究開発
2	農林漁業者の高齢化や担い手不足の解消に資する自動化・省力化、生産技術の効率化
3	農林水産物の流通の合理化・迅速化
4	農林水産物の環境配慮、循環型の生産体系実現の可能性拡大に資する技術開発
5	各障害の特異性・個別性も留意しつつ、多様化する障害像への汎用性も見据えた自立支援機器の開発
6	IoT等の活用による内航近代化に係る研究開発
7	海の次世代モビリティによる沿岸・離島地域の課題解決に向けた研究開発
8	交通分野（特に大型モビリティ）における代替燃料や大容量蓄電池の活用に向けた研究開発
9	造船所の生産性向上に関する研究開発